

【電気事業・工業用水道事業（共通）】

## 水源林整備推進事業 23,000 千円(電気:6,000 千円 工水:17,000 千円)

### (1) 概要

森林の持つ水源涵養機能の維持・増進を目的として、水源ダム上流部における間伐・再造林事業に対して助成します（県農林水産部実施）。

### (2) 事業内容

水源ダム上流部 14 箇所 計 650 ha（間伐：610 ha、再造林 40 ha）

（参考）令和 2 年度実績 水源ダム上流部 13 箇所

計 644 ha（間伐：601 ha、再造林 43 ha）

【電気事業・工業用水道事業（共通）】

## 水を守る森林づくり推進事業 2,400 千円(電気:800 千円 工水:1,600 千円)

### (1) 概要

水源ダム上流部における企業等との協働による水源の森づくり活動に対して費用を助成するとともに企業局職員も参加します（県農林水産部実施）。

### (2) 事業内容

錦川流域等 5 地区において、森林づくり活動を実施

（参考）令和 2 年度実績 参加企業数：46 社

参加者：235 人（企業参加者のみ）



《水を守る森林づくり活動》

## 新デジタル技術導入推進事業11,000千円(電気:3,700千円 工水:7,300千円)

### (1) 趣 旨

水力発電所や工業用水道の管路や導水トンネルの点検、維持管理等において、デジタル技術を導入することで、作業の効率化や安全を確保し、電気及び工業用水の安定供給体制の強化を図ります。

#### POINT

デジタル技術を活用し、効率的・効果的な維持管理や計画的な老朽化対策などを実施することで、電気及び工業用水の安定供給を確保

### (2) 事業内容

#### ①A Iによる導水路点検・診断システムの開発

- ・無人カメラを活用して通水状態で管路や導水トンネルの点検等を行い、損傷状況等の自動判読、健全性の診断等が可能となる、A Iによる解析システムを開発

#### 【現在の導水トンネル点検状況】



《断水による点検》



《潜水による点検》

#### ②リモート現場管理の推進

- ・リモート現場管理端末を活用し、現場立会や点検作業を効率化
- ・工水受水企業において、遠隔検針システムを活用し、リアルタイムで正確な給水量を把握

このほか、ネットワーク機器等の整備を行い、Web会議やテレワークの実施、発電所等の施設図面台帳の電子化にも取り組んでおり、デジタル化へ向けた環境整備を、計画的かつ積極的に推進しています。